

認知症の方にとって 住み慣れた地域とは

精神科ソーシャルワーカーとして精神障害回復者の社会復帰活動や高齢者に限定しない相談支援を実践。その後、地域性を踏まえた人々との「つながり」を大切にしていこうと、地域福祉の拠点としてNPO法人「風の詩」を設立。現在は、日本社会事業大学大学院にて研究も続けながら、「必察ソーシャルワーク」の実践を続けている。



1992年より専門出版社にて、認知症や介護、福祉、看護、医療、老年心理学などの分野の編集者として活躍。これまでに手がけた書籍等は数百冊にのぼる。2012年より、NPO法人認知症ラボ理事長として、YouTubeチャンネル(認知症スタジアム)の運営にも携わっている。

株式会社harunosora
代表取締役
尾崎 純郎

対
談

NPO法人風の詩
副理事長
永島 徹



3/25 (土) 14:00~16:30

久しぶりの
対面開催!

認知症の方の暮らしを考えると、「住み慣れた地域」「住み慣れた家」という表現が必ずついてくる。でも、認知症の方は住み慣れた地域や住み慣れた家とはどこを示すのだろうか。具体的に示すことができないとしても、住み慣れた地域、住み慣れた家とは支援者の視点ではないだろうか。もし、自分が認知症になったら、住み慣れた地

域・住み慣れた家とはどこを示すのだろうか、どこに辿りつくのだろうか。真実はたくさんあるが事実はひとつ、本人しか分からない。今が住み慣れた地域や家なのか。

当たり前のように使っている「住み慣れた」と言う言葉を探り、認知症ケアに関わる人々と認知症の方の暮らしを考えたい。

開催日時

令和5年3月25日(土) 14時~16時30分

会場

群馬県勤労福祉センター3階 第1・2会議室
前橋市野中町361-2

定員

100名(先着順/3月18日メ切)

参加申込はQRコードまたは下記URLより
お申し込みください

問い合わせ

公益財団法人老年病研究所
前橋市地域包括支援センター西部 山田
TEL:027(255)3100/fax027(254)3836
mail:seibu@ronenbyo.or.jp

主催

公益財団法人老年病研究所

共催

老年病研究所附属病院認知症疾患医療センター

運営事務局

株式会社klar(クラール) 前橋市西片貝町4-23-4
TEL:027-260-9525/FAX:027-260-9322

E-mail:information@klar.co.jp

あなたにとって
住み慣れた地域は
どこですか?

建物や場所ではなく、
空間や環境も住み慣れた
ところではないでしょうか?



申込は
こちらから



<https://forms.gle/GDHEoNuK9Lk1CtVv7>